

つなまち

2020年7月21日発行

No.216

Tsunan-Town

医療関係で働く皆さま
ありがとうございます

6月定例会 6/17~19

補正予算	02
採決結果、請願	03
一般質問～町政を問う	04～09
人事	09
委員会レポート	10～11
町民登場	12

[写真] むすぶ にいがた結プロジェクト
東京電力リニューアブルパワー(株) (大割野) でライトアップ

津南町議会

検索 

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 吉野 徹

令和2年第2回定例議会が6月17日～19日まで開催されました。10人が一般質問を行いました。新型コロナウイルス感染症対策が中心となりこの克服と経済対策など活発な議論となりました。他には人事案件の同意で任期満了に伴う副町長選任と農業委員18人の任命について全員を同意しました。また、新型コロナウイルス感染症対策による専決処分や補正予算、議案12件を賛成多数で可決しました。請願2件についても採択し、発議により国へ意見書を提出します。

世界中で蔓延した新型コロナウイルス感染症、日本では緊急事態宣言が解除されましたが、まだ都市部では多くの感染者が出ています。不便ですが「新たな生活様式」のなか、第2波が来ないようがんばりましょう。

令和2年度補正予算

一般会計(第1号・専決処分)

補正額 9億7,632万円
総額 75億2,432万円

歳入

国庫支出金 9億7,483万円
繰越金 149万円

歳出 施策の主な項目

総務費

特別定額給付金給付事業 9億3,500万円

同事務費 1,060万円

新型コロナウイルス対策として
国民一人当たり10万円を給付

民生費

子育て世帯臨時特別給付事業 750万円

同事務費 172万円

新型コロナウイルス対策として子育て世帯に対して子ども一人あたり1万円を給付

商工費

商工信用保証料補助事業 1,000万円

新型コロナウイルス拡大防止対策協力金事業 600万円

雇用安定化事業 100万円

町内事業者の借入金に対する信用保証料の補助、感染拡大防止のための休業等協力金、雇用安定化事業申請事務費の補助

一般会計(第2号・専決処分)

補正額 9,050万円
総額 76億1,482万円

歳入

国庫支出金(感染症対応地方創生臨時交付金) 6,750万円
繰越金 2,300万円

歳出 施策の主な項目

総務費

プレミアム付商品券事業 2,000万円

町内消費減少に対してプレミアム商品券を発行

民生費

子育て世帯臨時特別給付金増 250万円

商工費

事業継続給付金 2,700万円

宿泊施設・飲食店等体質強化事業 3,000万円

緊急短期借入金利子補給事業 100万円

宿泊支援事業 1,000万円

コロナ禍における事業継続のための給付金、宿泊・飲食・理美容店等感染防止施設設備改修費補助、緊急借入金利子補給、宿泊支援のため町民利用者への宿泊費補助

一般会計(第3号)

補正額 1億4,133万円
総額 77億5,616万円

歳入

国庫支出金 2,320万円
県支出金 1,955万円

繰越金 9,161万円
諸収入 296万円
町債 400万円

歳出 施策の主な項目

総務費

ふるさと支援まちづくり基金積立 164万円

「ミニミニ」助成事業(除雪機) 250万円

民生費

重度訪問介護事業 419万円

衛生費

町立津南病院補助 330万円

病院経営健全化のため調査分析業務を委託するための経費

農林水産事業費

県単農林水産総合振興事業 131万円

花卉生産者事業継続支援事業 3,747万円

コロナ禍の花弁の価格下落に対し、花卉生産継続のための町支援。ドローン操作免許取得補助 150万円

商工振興費

宿泊支援事業増 300万円

観光費

施設維持管理委託事業(竜神の館) 560万円

教育費

GIGA(ギガ)スクール推進事業 3,258万円

小・中学校の児童・生徒への端末配備、電子黒板、ギガスクールサポート1委託料等。
遺跡発掘調査事業 1,437万円
埋蔵文化財活用拠点施設整備(旧中津小)・民俗資料館改修工事費増 753万円

令和2年6月議会採決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第36号	津南町監査委員条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第37号	津南町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第38号	津南町税条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第39号	津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第40号	津南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第41号	農と縄文の体験実習館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成で可決
議案第42号	財産の取得について(ロータリ除雪車)	全員賛成で可決
議案第43号	令和2年度津南町一般会計補正予算(第3号)	賛成多数で可決 (賛成9 反対4)
議案第44号	令和2年度津南町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全員賛成で可決
議案第45号	令和2年度津南町介護保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
議案第46号	令和2年度津南町簡易水道特別会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決
議案第47号	令和2年度津南町病院事業会計補正予算(第1号)	賛成多数で可決 (賛成8 反対5)

病院事業会計補正予算

反対討論

小木曾茂子

経営改善に向けた調査分析業務委託費として330万円が計上されている。コロナ禍のまっただ中で不要不急と思えば反対する。質疑からも補正予算に上げる必要は感じられない。

理由1、第2波の予想もある

なか、経営はさておいても住民の安全安心のために集中すべき。2、委託先の株式会社麻生は九州にあり、経営診断の実績は東北では1件しかない。豪雪へき地医療に関しては長野県を参考にしているどうか。3、予算330万円はご苦労されている病院関係者に均等割りの慰労金としたらどうか。

請願・討論

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書提出を求める請願

総文福祉常任委員会に付託

賛成多数で採択

賛成討論

桑原 義信

補聴器は、高齢者が生き活きと暮らせるために、また社会参加促進のための必需品である。難聴になると家庭の中でも、ただ相づちを打ったり、聞き間違いが多くなったりする。社会的にも孤立しやすくなる。この機会が減り、引きこもりになりがちとなり、認知症に繋がることも心配される。生活に支障をきたしているものの年金のみで暮らす低所得の高齢者にとって、補聴器は高額で手が届かないのが実態である。

補聴器購入に対して公的補助制度を作ることに、買い求めやすくなり、高齢になっても生活の質を落とさず心身ともに健やかに過ごすことができる。社会参加を求める高齢者の聞こえを支援することは、健康寿命を延ばし医療費の抑制にもつながると考える。私は補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書に賛同する。

本会議において、請願2件にかかる意見書を可決し、それぞれ関係機関宛てに提出しました。

後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書の提出を求める請願

総文福祉常任委員会に付託

賛成多数で採択

賛成討論

桑原 洋子

昨年6月、後期高齢者医療広域連合協会は政府に要望書を提出。「高齢者にこれ以上の負担増は大幅な受診抑制を引き起こすこと」、「年金も減らされ続け生活がますます苦しくなってしまう」など、高齢者の生存権が脅かされると訴えている。

現在の窓口負担は、非課税世帯は1割、そして現役並み所得者は3割負担である。3割負担の人も年収によって1割負担となり、高額療養費の負担上限額も軽減されることになっている。

単身世帯で年収383万円未満、複身世帯で520万円未満の場合申請すれば1割負担になる。

政府の検討会議での一定所得以上の人を2割負担にしようという動きには、年金者組合や医療関係団体などからも、高齢者の負担増になり検討、中止の意見が出されている。この窓口負担現状維持に賛同をお願いする。

町政を問う!!

一般質問(10議員)

補正予算

採決結果、請願

一般質問、町政を問う

人事

委員会レポート

- 1** **草津 進** 議員 (4ページ)
1. 新型コロナウイルス感染症対策について
- 2** **石田タマエ** 議員 (5ページ)
1. 新型コロナ感染拡大の対応について
- 3** **小木曾茂子** 議員 (5ページ)
1. 津南町地域防災計画について 2. 定住人口の増加対策は 3. 学校教育へのリモート授業の準備は 4. コシブラの放射能基準超えについて
- 4** **関谷一男** 議員 (6ページ)
1. 新型コロナウイルスの感染防止対策について
- 5** **栗原洋子** 議員 (6ページ)
1. コロナ禍における地域医療を守るための考えは 2. コロナ禍のなかで「保育園整備のための合同検討会」のあり方は 3. 町独自の子育て支援を

- 6** **滝沢元一郎** 議員 (7ページ)
1. 新型コロナウイルスに伴う生活様式の変化に対応するなか、長期戦略について
- 7** **恩田 稔** 議員 (7ページ)
1. 新型コロナウイルス感染防止と経済の両立について
- 8** **村山道明** 議員 (8ページ)
1. 新型コロナ危機で見えた課題と克服の取組について 2. 津南病院運営について
- 9** **桑原義信** 議員 (8ページ)
1. 新型コロナウイルス対策について 2. 新型コロナ危機で日本のあり方について
- 10** **久保田等** 議員 (9ページ)
1. 新型コロナウイルスへの町独自の更なる支援策について 2. 今後の各種事業計画の進め方について 3. 宝山荘の今後の利用予定について

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

経済対策の速やかな実行を

町長 町では2月下旬に警戒本部を立ち上げ、対策本部へ移行しながら現在まで12回にわたり会議を行った。感染防止を最優先に、小・中学校の対応、イベントの中止、施設の休止、町内での発症時の対応などについて協議してきた。今後も状況を見極めながら、防止対策と社会経済両立のための危機管理体制を整えていく。支援策として、専決処分をした町民一人当たり10万円の給付事業、プレミアム付商品券

新型コロナウイルス感染症対策は



草津 進 議員

町長 日本中の自治体が新型コロナウイルスという未知の感染症と戦っている。自治体と行政が果たす役割は大きい。危機管理と町民への支援策は。

導入是非の9月入学制は

事業、町内の宿泊施設を利用した場合に一部助成と土産券を給付する宿泊支援事業、子育て世帯支援事業がある。事業者に対しては各種補助金事業がある。今後も町内の経済、雇用の状況把握に努める。

町長 ウイルス感染拡大による休校が長期化した。将来を担う子どもたちの入学時期は。教育長 今一番の課題は感染症対策と学習活動の両立である。新しい生活様式の実践を求めていく。子どもたちの学びの保障に努める。9月入学制については課題があり、時間をかけて議論を進める必要がある。



議場も新型コロナ対策

感染者は地域の医療機関で受入れ可能

問 雇用調整助成金の申請が少ない。当初町長は、「津南の雇用を守る」と言い切っていた。この度は雇用保険をかけていない人でも該当になるので、もっと事業主に対して積極的に申請をするような働きかけが必要ではないか。

答 国保料減免やひとり親世帯への国の支援策に加えて、この度の小口資金（融資）を必要としている世帯に町独自で、借入金の50%を支援することができないか。

福祉保健課長 特例により償還が免除となる国の支援策が示されている。今のところ町独自では考えていないが、今後の状況も踏まえ検討したい。

生活困窮者に対して町独自の支援が必要



石田 タマエ 議員

問 国保料減免やひとり親世帯への国の支援策に加えて、この度の小口資金（融資）を必要としている世帯に町独自で、借入金の50%を支援することができないか。

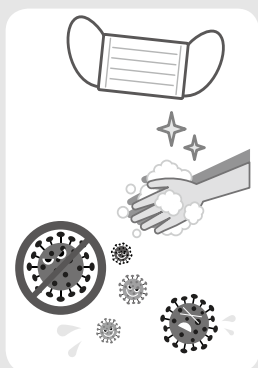
答 国保料減免やひとり親世帯への国の支援策に加えて、この度の小口資金（融資）を必要としている世帯に町独自で、借入金の50%を支援することができないか。

観光地域づくり課長 事業主へのメリットはないので特に個人事業者はこの申請に消極的。現在、飲食店・宿泊施設・日帰り入浴施設で55件の申請がある。この他にも多職種あるが、商工会と連携して働きかけをしていく。

問 この地域に新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、軽度・重度の患者の受入れ態勢はできているか。

町長 感染者の人權に配慮して、町対策本部で近隣市町村と連携して対応する。

福祉保健課長 十日町管内では、軽度者も重度者も医療機関ですべて受け入れることができる。



防ごう新型コロナ感染拡大

問 学校・保育園では3密を避ける努力をしているが、今、保育園統合構想は3密を作ろうとしているのではないか。

教育長 空間が広くなれば3密は避けられる。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う！

コロナ禍を踏み越えた施策を

問 人口過密を避け、食糧の自給率を上げる必要がある。リモートワークも広がり地方移住を望む人が増えている。受け入れ態勢をどうするか。

答 一定人口の増加に向けて人口過密を避け、食糧の自給率を上げる必要がある。リモートワークも広がり地方移住を望む人が増えている。受け入れ態勢をどうするか。

町長 県はPAZ圏のみを考慮しており、県の基準に従う。

問 原子力防災について。感染予防で換気が必要との認識もあり、安定ヨウ素剤事前配布がますます重要。国は自治体の判断を可としている。

町長 県はPAZ圏のみを考慮しており、県の基準に従う。

問 原子力防災について。感染予防で換気が必要との認識もあり、安定ヨウ素剤事前配布がますます重要。国は自治体の判断を可としている。

町長 県はPAZ圏のみを考慮しており、県の基準に従う。



小木曾 茂子 議員

町防災計画の再検討を

問 感染予防の観点からも、避難所での専有面積を国際基準に合わせ現在の2倍の広さに見直しをすべき。

町長 プライバシー保護の面でも見直す必要がある。

問 原子力防災について。感染予防で換気が必要との認識もあり、安定ヨウ素剤事前配布がますます重要。国は自治体の判断を可としている。

町長 県はPAZ圏のみを考慮しており、県の基準に従う。

問 一定人口の増加に向けて人口過密を避け、食糧の自給率を上げる必要がある。リモートワークも広がり地方移住を望む人が増えている。受け入れ態勢をどうするか。

答 一定人口の増加に向けて人口過密を避け、食糧の自給率を上げる必要がある。リモートワークも広がり地方移住を望む人が増えている。受け入れ態勢をどうするか。



我が家の隔離用部屋

問 新型コロナウイルス第2波に備えて準備は進んでいるか。

教育長 ギガスクール構想が今年度中に前倒しとなる。なるべく早く体制を整えたい。

町長 プライバシー保護の面でも見直す必要がある。

観光地域づくり課長 良い案と思う。実施を検討したい。

町長 IT企業誘致を研究している。ウェブ上のページを開設したり、コワーキングスペースを用意したい。教育、医療、住宅提供の充実も必要だ。

問 津南を知ってもらうために、困窮する宿泊施設を利用し、津南体験ツアーを募集してはいかがか。

リモート授業の準備は

問 新型コロナウイルス第2波に備えて準備は進んでいるか。

教育長 ギガスクール構想が今年度中に前倒しとなる。なるべく早く体制を整えたい。

町長 プライバシー保護の面でも見直す必要がある。

観光地域づくり課長 良い案と思う。実施を検討したい。

町長 IT企業誘致を研究している。ウェブ上のページを開設したり、コワーキングスペースを用意したい。教育、医療、住宅提供の充実も必要だ。

新型コロナウイルス感染症対策



関谷 一 男 議員

祭礼縮小要請はするのか

問 各集落に祭礼縮小要請をするのか、集落の判断に委ねるのか伺う。

町長 祭礼、地域行事や人の移動などガイドラインが出されている。新型コロナウイルス感染防止対応をしたうえで祭礼については、集落で判断してほしい。

新型コロナウイルス感染者を出さないための対策は

問 津南町では幸いなことに感染者が出ていないが、このまま感染者を出さないための対策を伺う。

町長 津南町では皆様から感染症予防の取組にご協力頂き感染者は出ていない。今後は国、県が示している感染症予防のための指針等を元に対策

を進める。

あらゆる広報手段で感染予防を周知していく。必要に応じて私からもメッセージを出す。

非接触型体温計の配布について

問 新型コロナウイルス感染防止対策の全町民への平等な支援として、非接触型体温計を全世帯に配布できないか。

町長 現段階では非接触型体温計の全戸配布は考えていない。新型コロナウイルスがいつまで続くのか、一日一日変わっていくので様々な対策を打つなか、どのタイミングで財源を使うか、状況の見極めが重要。状況を見極めながら、どんな対策が全町民向けに必要なか考える。



遊びもマスクで新型コロナ対策

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

保護者ではなく町長自身の意識変えて

コロナ禍の再編地域医療を守るのか

問 新型コロナウイルス対策に対応する病床確保、スタッフや医療体制の充実こそこの地域に必要な。津南病院も受診抑制に直面している。財政措置を国にしっかりと求めよ。

町長 画一的なデータのみで対象病院を選んだ。また感染が拡大した地域で病床数が不足する懸念が高まった。関係機関と連携を図り、地域医療を守る思いを強くした。津南病院は5月の患者数が前年同月より大きく減少。国に財源補填など強く働きかけた。感染拡大を抑えるために検査体制の強化を国、県に求めよ。

町長 PCR検査は必要な時に提供できている。さらに検



栗原 洋子 議員

査体制の強化を求めていく。

コロナ禍大規模で子どもの命守れるか

問 「保育園整備のための合同検討会」を非公開で行った。なぜ非公開非公表か。

町長 「コロナ禍での「新しい生活様式」3密対策など議論はされたのか。改めて町民、有識者の声を聞き拙速に進めず踏みとどまるべきではないか。

町長 保護者が率直な意見等を発言できないため非公開とした。感染症予防で重要なキーパーソンは保護者。保護者自身の意識を変えていくことが重要との意見があった。新園舎の整備に向けて着実に歩みを進める。議会で可決、私に託された重要な責務である。



コロナ禍今すぐ経費で3密対策子どもの命守れ

ウィズコロナ時代への対応は

問 新型コロナウイルス感染症は深刻な経済不安と移動の制限、物流寸断、社会格差や貧困の拡大を招き、生活様式や消費動向に変化が生じているがどのように捉えているか。

生活の見直しや節約志向に対する農産物の家庭需要への対策強化、新たなライフスタイルに応じた都市交流、納税者が直接足を運ぶふるさと納税のあり方、コロナ禍で求められる国内回帰や田園回帰志向に対する中長期の労働力確保にどう取り組むか。

町長 新型コロナウイルスで実態経済が減退するなか、ウイルスとの共生時代となり、新しい生活様式によって消費動向も変わる。

生活様式の変化に合った対策を



滝沢 元一郎 議員

家庭における通信販売などの利用頻度が増え、節約志向によって地域経済にも影響が出ている。こうしたなか、家庭需要への対応、首都圏との交流、田園回帰による労働力の確保など検討していきたい。総合振興計画、創生総合戦略の素案に反映させたい。

ふるさと納税は関係人口を構成するものであり、納税者の思いを大切にし、情報の発信など二層進めていきたい。



津南町のふるさと納税返礼品

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

新型コロナ感染防止と経済の両立について

問 新型コロナウイルスに対しての医療体制は改善されたか。

町長 緊急事態宣言前の3月からは医師会、医療機関、保健所、行政が一体となり議論する体制ができ、病院の連携や管内に2か所の地域外来検査センターの設置ができた。

問 6月19日から県境をまたいで移動できなくなり、自由に移動できることになり、が、積極的な誘客をして良いのか。

観光地域づくり課長 当面は感染対策の整った施設から徐々にと考えている。

問 前年比で売上が一ヶ月でも50%以上減った事業所やフリーランスを支援する持続化

医師会が緊急事態宣言をした4月以降状況の変化は



恩田 稔 議員

給付金があるが対象者は何人いるのか。

観光地域づくり課長 全ての把握は難しいが、一人でも多くのかたから申請していただきたいと考えている。

問 対象になれば一人100万円の給付を受けられる。個人にとっても町にとっても大きい収入になる。十日町にサポートセンターが開設されたが、津南町の利用者が少ないとの情報である。高齢者が多いのは理解しているはず、十日町に行かなくても役場で申請の手伝いをしてあげれば相当の金額が町内所得になると思うが。

副町長 役場だけでは難しいが商工会と連携して対応したい。



緊急事態宣言中、海外との交流はオンラインで

病院赤字に抜本的方策が必要だ



村山道明 議員

新型コロナウイルス農業関連 緊急経済支援は

問 新型コロナウイルス感染症で見えた課題として、農業関連の支援策が見えてこないとの農家の声が多く聞こえるが、今後の関連支援予算化はどうか。ユリ・切花・業務用米販売に対する対応は。

町長 農産物の中では、7月から8月に出荷量が増えるユリ・切花は、イベント等の減少による単価低迷が懸念される。

国補助事業の有効活用検討や販売単価下落による収入減少となった場合、種苗費、施設利用料などの経費補助の支援をする。資金不足の場合は、農業関係融資制度の周知に取り組み。米については、8月の概算金単価を見据えたい。

必要な施策について迅速に対応する。

病院赤字解消や経営再生は

問 「津南病院運営審議会」の赤字改善策の答申に対して、いまだに経営再生の見通しが見えない。

今、新型コロナウイルス感染症の影響で、外来患者が減少しているが、今後に取り組む抜本的な経営改善方策はあるのか。

町長 診療体制見直しなどを行い、患者数は減少したが前年度対比4,400万円の経営改善ができた。答申にある現在の赤字幅を50%圧縮、町単独負担を1億5,000万円に抑制するところには届かない。答申の目標に近づくために次のステップに進めたい。

津南病院は経営体力をつける必要がある。



発熱外来受付（津南病院）

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う！

コロナ禍から暮らし、営業を守る予算を



桑原義信 議員

町民を守る正念場

問 国の2次補正予算では、家賃支援給付金が創設された。町内事業者は「リース料、電気料、水道料など固定費が

払いきれない」という切実な声がある。商売が継続できるかの瀬戸際であり、固定費への支援で支えるべきだ。

町長 景気低迷が長期化するようであれば、事業者ニーズを把握しながら検討していく。

問 町独自の事業継続給付金を6月以降も対象に、年度内継続を。

町長 今後の経済状況に応じて国で対策を考えていただけるとは考えていない。

問 多くの学生たちは、アルバイトによる収入を基に生活設計を考えていたが、それが

崩れた。授業料の一律半額免除を国へ要望していただきたい。津南出身学生へは、一人3万円の給付金の実施を。

町長 授業料は大学等にとって最低限必要な経費と考える。国の考え方や支援状況を勘案したうえで対応を考える。出身学生への支援は対象者の把握が困難であり、現時点で考えてない。

問 新型コロナウイルスの世界的感染拡大で社会のあり方が「これでいいのか」根本から問われている。新自由主義の破綻は明らかだ。新型コロナウイルス危機のもと日本のあり方、どういふ社会を目指すべきと考えるか。

町長 議員指摘の医療の充実、雇用、自国における物資の供給体制など重要課題であり検証で見えてくるのではないかと考える。



コロナ禍で待たれるお客さん再来

新型コロナ支援策は、まだまだ不十分

町独自の更なる支援策は



久保田 等 議員

問 新型コロナウイルス感染症の拡大で生活や社会経済に大きな影響を受けている町民と事業者を支援する更なる策を考えているか伺う。

- 町長** ①花卉生産者の事業継続を支援するために助成する。
 ②ユリ切り花を飲食店、旅館等に飾ってもらい来町者に宣伝するPR事業。
 ③今後の観光の有り方を勉強してもらおう講演会事業。
 ④小中学生に一人に1台ずつ端末を配備するギガスクール事業とサポーター配置事業等を考えている。
- 問** コロナ禍における今後の各種事業の進め方を伺う。

町長 振興計画は、8月までに計画素案をまとめ策定委員を交えて検討し、12月に審議会に諮問し3月までに完成させる。観光地域づくり法人(DMO)は設立検討委員会に関係団体と未来会議のリーダー格の皆さんに参加していただき、次年度予算の編成期までにある程度は目途を付きたい。未来会議は7月から農業×観光、商工×観光、移住×観光、教育×観光という4つのテーマで話し合いを進めていく。

問 宝山荘前の県道改良工事で既設の井戸と建物の一部(厨房)、それに借地している駐車場も無くなり、今後の利用に支障が生じると思うが、今後、宝山荘をどのようにしていくとされているのかを伺う。

町長 建物の現状や改修経費、既設の井戸と建物の補償料などを十分に検討し考えていきたい。



5年前に町が購入した宝山荘

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

人事

津南町副町長選任について、賛成多数で同意しました。



根津 和博氏 (大割野)

平成31年4月～6月末
津南病院管理部署事務長



高橋 芳子氏 (十二ノ木)

平成20年より人権擁護委員

人権擁護委員候補者の推薦について、全員賛成で適任としました。

津南町農業委員会委員の任命について、全員賛成で同意しました。

- 板場 勇司 (美雪町)
 - 河田 千春 (亀岡)
 - 桑原 京子 (十二ノ木)
 - 桑原 幸枝 (貝坂)
 - 島田 福一 (宮野原)
 - 滝沢 芳則 (赤沢)
 - 津端 久夫 (上野)
 - 中澤 繁夫 (上段)
 - 中村 敬二 (宮野原)
 - 中山 國廣 (外丸)
 - 根津 秀人 (石坂)
 - 樋口 則郎 (船山)
 - 藤木 巖 (岡)
 - 藤木 正光 (米原)
 - 藤ノ木 敬一郎 (太田新田)
 - 藤ノ木 稔 (堂平)
 - 涌井 直 (相吉)
 - 涌井 益夫 (穴山)
- (五十音順)

委員会レポート

Commission Report

産業建設常任委員会

令和元年度 所管事業成果巡視

◆と き 4月24日(金)

◆と ころ 町内各所

◆内 容 令和元年度所管事業成果巡視を実施した。

〔農林振興課所管〕

農林振興課においては、農地中間管理事業活用型経営発展支援事業を利用した(株)麓(ろく)を見学した。

① 認定農業者1名が中心になり、若い3名が水稲と畑作の複合経営を目的に設立。

② 高齢化にともない農地集積が進み、個人の経営規模が限界となり、法人化により効率化と規模拡大を図り、継続可能な経営を目指す。

③ 主な耕作地域は、中津川左岸の国営苗場山麓開発第2地区。

④ 令和元年度に畑作の経営規模拡大に向け機械・施設を導入。

令和元年度 経営実績

水稲11ha、雪下ニンジン1ha、スイートコーン3ha、カリフラワー13ha他 合計20・5ha

補助事業の概要

事業種目…農地中間管理事業活用型経営発展支援

導入機械…トラクター2台、ロータリー1台、ブームスプレーヤー1台他

野菜集出荷施設…

132㎡・一部2階木造建・1棟
事業費…3,803万円
(県補助2,090万円、町補助379万円)

〔建設課所管〕

建設課においては、左記7か所の工事が計画どおりに進捗または完了していることを確認した。

① 反里口…船山新田反里口線改良舗装工事

② 中深見…中深見堂平線改良舗装工事

③ 十二ノ木…十二ノ木豊船線消雪パイプ布設替工事

④ 卷下…信濃川災害復旧工事

⑤ 越手…越手線改良舗装工事

⑥ 朴木沢…上郷芦ヶ崎線道路災害復旧工事

⑦ 赤沢…反里赤沢線改良舗装工事



農家の法人化により効率化、規模拡大が進む

総文福祉常任委員会

民生児童委員からの

質問と要望に回答

地域福祉部会 質問

- ① 病院通りの電柱移設の進捗状況は。
- ② 見玉公園に公衆トイレの設置を望む。
- ③ 国道から「かねと」の通路の整備を。

回答

- ① 3本のうち2本は移設予定。1本は本年度中に移設予定。
- ② 令和4年度以降に進める計画を協議中。
- ③ 用地所有者の了解が得られていない。学校入り口に信号機設置の要望を出したい。

青少年福祉部会 質問

- ① あいさつ運動、ラジオ体操に取り組んでほしい。
- ② 8050、7040問題は不登校引きこもりに起因するケースも。高齢者向けの地域包括支援システムのよくな取組はできないか。
- ③ 保育園統合と小学校の統合を合わせて議論してもらいたい。

回答

- ① 議員からも積極的な参加を呼び掛けていきたい。
- ② 町社会福祉協議会で「イツモノトコin津南」を実施中。「日常生活の困りごと調査」も行い、取りまとめた。町自立支援協議会で検討を進める。
- ③ 人口減少に伴う教育の在り方について、教育委員会とも協議を続けていく。

高齢者福祉部会 質問

- ① 津南小学校通学路などの危険箇所への対処は。
- ② 高齢者の交通事故対策である運転免許証返納は現状では不可能。公共交通のあり方は。
- ③ ごみ焼却場移転の現状は。

回答

① サンスポーツ裏は学校とも同行し確認する。バス停も狭く危険。担当課と同行し把握に努める。

② 免許返納の支援策として公共交通利用券の配布などを検討。公共交通については予約型乗り合いタクシーを空白時間や空白地域の穴埋めに使い利便性を高める。4月に新たな計画が示されたので検討してほしい。

③ 十日町市と協議中。シルバールの雇用は継続。リサイクルごみの持ち込み方法やごみの収集の仕方は同じ予定。分別が一部変わる。大型ごみは解体費が加わるかもしれない。

障害者福祉部会 質問

① 病院通りの電柱が危険。

② 町の交通対策の進捗状況は。

回答

① は地域福祉部会質問①と同じ。
② 路線バス等の車いす対応や福祉車両の導入は難しい。乗り合いタクシーの利便性を上げる必要がある。以前、透析患者さんの送迎を実現したように具体案を当局に示す必要がある。

新型コロナウイルス対策に関する要望書提出

議会では6月15日に「新型コロナウイルス対策に関する要望書」を桑原町長に提出しました。

要望書冒頭では「全国に発令されていた緊急事態宣言は解除されたが、まだ予断を許さない状況です。町民、事業者の不安解消や町独自の支援策の拡充に努めていただきたい。」と述べ、次の要望をしました。

要望内容と申入れ時の

当局回答

1. 経済対策

① 期間を定め、上水道料金の基本料免除。

回答 現時点では様子を見させて欲しい。

② プレミアム付き商品券発行事業の追加実施。

回答 一次の実施状況を見て検討する。

③ 花卉生産者への支援策行うこと。

2. 子ども・教育関係

① 町出身者で大学、専門学校等に通り、一人暮らしの学生への支援。

回答 育英資金の返済猶予は検討中。

② ③ ひとり親世帯・子育て世帯への支援。

回答 国の対策を活用し、なお必要であれば検討する。

3. その他

① 医療従事者、介護従事者への応援、支援。

回答 国二次補正で対応となるが、公立津南病院が該当するか確認が必要。

② 財政調整基金、ふるさと支援まちづくり基金及び中止となつた各種イベント等の不用額を活用し、対策の財源に充当すること。

回答 財政調整基金は一定程度残しておきたい。

③ 町内事業者を積極的に活用するよう引き続き周知を行うこと。

回答 飲食店への支援について町民にお願いしている。

全ての議員から具体的な要望・提案が多数提出され、本要望書に詳細資料として添付しました。



議員報酬削減の

検討について

新型コロナウイルス感染症拡大により、町内の社会経済が影響を大きく受けることから、議会でも議員報酬削減の議論をしました。各議員から出された賛成、反対の意見を議会運営委員会でも検討した結果、「報酬削減」は行わないことを決定しました。

削減賛成意見

① 議員報酬は県内でも低額で、減額は望まない。期末手当については全額返還あるいは半額商品券でも差し支えない。町政にまわすべきと考える。

② 議員の立場として町のために何かするという心意気を示す必要性を感じる。10%程度2万円を津南町商品券で。希望者だけでもよい。

削減反対意見

① 他の近隣自治体でもこの取組はしていない。現時点では削減は必要ない。

② 削減してもわずかな金額。住民に向けたパフォーマンスでしかない。もっと町民の声を聴き、議会の情報を届けるための活動資金とすべき。

